

ていね



No.121

札幌手稲高等学校PTA広報誌



- 学校祭 有志発表 -



- 学校祭 パフォーマンス -



- 学校祭 垂れ幕 -



- 学校祭 縁日 -



- 球技大会 バスケットボール -



- 球技大会 サッカー -



跛つ者は立たず、跨ぐ者は行かず

校長 田川 芳紀

今年も、還暦という人生の節目を迎えたこともあり、教え子に会う機会が増えました。中でも私が初めて卒業させた教え子たちと再会できたことがとても印象的です。私が20代だったのも、その教え子たちはまもなく50歳になる年齢です。私自身、「若気の至り」で多くの失敗を重ねていた時期でもあり、数年ぶりに会ってどのようなことを言われるのかドキドキでした。そんな中、何人かの教え子に、卒業の日に体育館での式典の後、教室で私が話した内容が、式典での校長の話しを否定する内容だったのでとても印象的であり、今でも覚えていると言われました。思わず赤面です。(この場を借りて、当時の校長先生にお詫び申し上げます。)

当時の校長は、式辞のなかで「跛(つまた)つ者は立たず、跨(また)ぐ者は行かず」と老子の言葉を紹介し、「背伸びをしてつま先だてば、しっかりと立つ事も出来ない。大股で歩けば、疲れてしまつて歩き続ける事も出来ない。従つて、自分の実力以上に見せようとする者は、あちこちほころびが出たり、力が続かなかつたりして、結局長続きせず、うまくいかない」という話しをされました。全くその通りです。自分の力量を考え、できることをコツコツ積み重ねていくことは大事なことです。しかし、私は、「若い時は、つま先立ちしても長時間立つてられないし、大股で歩いても長時間グイグイ前に進める。多少、不安定でもつま先立ちをして、遠くを眺め、そこに自分の進むべき目標を見つけ、大股でグイグイ進むべきだ。若い時にそれをしないと、歳をとってからではできない。」という話しを教室でしました。今でもその気持ちは変わっていません。

若い時は誰でも大きなエネルギーを持っていきます。そのエネルギーをすぐに出力できる人もいれば出力までに時間がかかる人もいます。また、省エネで進んでいる時は、自分自身のエネルギーの大きさを実感出来ないかも知れません。少し背伸びをした時に、その存在に気が付くはずですが、若いうちは多少無理してでもグイグイ進む習慣を身に付けて欲しいと願っています。たとえ失敗して転んでも、背負う荷物が軽いうちはすぐに立ち上がれます。手稲高生にはそんな逞しい若者になって欲しいと思います。



幸福になるといふこと

PTA副会長 小杉 靖子

この題で原稿を書くかと思つた理由は、まず今年の高P全国大会は福井県でした。テーマは「教育と幸福」。しかも二〇一四年度幸福度日本一がその福井県。この基調講演は、脳科学者 茂木健一郎氏の「幸福とは何か」を脳科学から考えるという内容でした。講演はとても興味をひかれるものだったからです。

幸福度ランキングとは、四〇の

データを生活・労働・安全・医療などに分け、社会経済統計を活用して幸福度を分析し、ランキングを付けたものです。二位が富山県、三位が石川県。「人口が少ない北陸各県の幸福度が高い。経済力が強くなると地域の政策や住む人の考え方、行動で幸福度の高い地域をつくることができる」と分かれる」という分析です。私は富山県に五年程住んだ経験から北陸の印象は共働きの率が高く、三世代同居が多いので祖父母が子どもを見てくれる。教育水準も高く落ち着いた環境というイメージです。ちなみに北海道は四十三位でした。

では、お金があれば幸福なのか。先の結果からも必ずしもそうとはいえないでしょう。本当の幸せはその人の人生をつくりあげている様々な要素が絡み合った結果の「総合点」

で判断されるのです。「この条件が満たされないと、私は幸せになれない」と、たったひとつの条件がクリアされないために不幸だと思ひ込んでしまふ。反対に、たったひとつの心配事や不満のために不幸だと思ひ込んでしまふ。幸福はあらゆることの総合点であると知っていれば、このような思い込みにはならないはず

又、自分の「適応力」に信頼を置いている人は、どんな状況にあつても幸せになれる可能性が高いのです。例えば、沖縄で生まれ育つた人が北海道に住むことになった。冬に外で寝たら確実に死にます。そんな環境でも人間には適応力があり暮していきます。ここで幸せになれるタイプの人は、寒さというマイナス面があつても他のプラス面を見つめる人です。「こんな寒いところで生活できない」と嘆く人は、不幸の種を見つけてしまふ人です。

PTA活動の三年間で多くの方とのかかわりや学校行事への参加を通じて、子どもの成長が感じられ、幸せな時を過ごすことができました。そして子どもたちには幸せになつてもほしい、幸福だと思ふ人生を歩んでほしいと願うばかりです。

教育と考福

PTA副会長 古川 昌代

第六四回全国PTA連合大会福井大会が八月二十一日より、三日間の日程で開催されました。鎌田副校長と共にPTA役員四名も参加させて頂きました。「教育と考福」とは福井大会のメインテーマであります。子供たち一人一人の幸福の実現は、私達全ての親の願いではないでしょうか。そこにスポットを当て、サブテーマに「未来に引き継ぐ知と恵み」を掲げた今大会は、小中学生の学力が全国一と言われる、知と学びの風土を持つ土地らしい大会でありました。メイン会場のサンドーム福井には六千人を超える会員が集まり、北海道の会員が陣取ったスタンド席からの眺めは圧巻でした。

基調講演は脳科学者の茂木健一郎氏による「今求められる考福脳」脳科学者からの提案」でした。難しいテーマですが、私達にも分かりやすく、面白く話して頂きました。人間の脳は幾つになっても、新しい事に挑戦し続けることで若々しく、学びつづける事が出来るそうです。そして、脳科学の世界では「幸福とは何か・・・」の答えが分かりかけているそうです。「欠点はあってもよい」「幸福とはダメでもよい」と、自分の欠点を受け入れ、あらゆる経験を積みながら、補いあつて成長していく事が幸福感へと通ずるそうです。簡単ではありませんが、そんな言葉を息子にかけてあげられる親に近づきたいと思います。

早朝、会場に向かう際、沿道に大会の旗を持った熟年の方達が居りました。実行委員の方達ではなく、なんと地元の先生達だと後で知りました。まさにPTA。教育熱心で幸福度全国一の福井らしい光景でした。閉会式には日本一ファンキーな吹奏楽指導者植田先生率いる武商吹奏学部も登場、会場が一つになりました。閉会式後には永平寺なども見学し思い出が増えました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

基調講演は脳科学者の茂木健一郎氏による「今求められる考福脳」脳科学者からの提案」でした。難しいテーマですが、私達にも分かりやすく、面白く話して頂きました。人間の脳は幾つになっても、新しい事に挑戦し続けることで若々しく、学びつづける事が出来るそうです。そして、脳科学の世界では「幸福とは何か・・・」の答えが分かりかけて



PTA社会見学に参加して

文化委員長 櫻井 知子

文化委員会行事として恒例？の社会見学会、今年は待望の真狩のマツカーリーナへ行ってきました。今年は大盛況で募集定員オーバーとなり、止むなく、くじ引きという次第となりました。はずれた方々は来年、再来年もありますので是非申し込み下さいませ、お願いします。

九月二十二日月曜日、雨男の田川校長をよそに、晴女の明井先生、PTA会長の佐々木さんの力が勝利を得、晴天のもと、手稲高を出発しました。バスの中では、自己紹介に始まりタオルリレー、創作漢字ゲーム上位者には明井先生の韓国土産、高級茶、顔パック等、文化委員二年生のナイストークで盛り上げました。

美しい外の景色を楽しみ、バスに揺られ十一時半にマツカーリーナへ到着。小高い丘の上に、何とも上品な佇まいを持つおしゃれな建物です。ウキウキ気分でゾロゾロと、いざレストランに入ります。美しくデザインされた店内、廊下から硝子張りですべて見渡せる厨房。外の景色、光をふんだんに取り入れた店内、そしてイケ面のウエイター!! 真狩村のやる気の集結を感じました。さてランチの始まりです。この地で採れた、野菜の盛り合わせ、これはもうア

ト、芸術作品でした。味は勿論、盛りつけの色合い、盛り方、食べてしまうのがもったいない位でした。優しく甘いコーンのクレープ包み等々家庭の食卓ではお目見えしない手のこんだ品々、メインは小羊の厚切りヒレステーキ。うーん、これは好き嫌いがあつたかも。デザートは超充実。見た目にも量も大満足のランチでした。

さてさて行ききのバス中で、本日は田川校長の誕生日であることがわかり、帰りのバスでは明井先生と佐々木さんに一芝居を打っていただき、みんなでハッピーバースデーを歌い、小さなプレゼント。思いがけない楽しい一時を過ごせました。食事の時間が少し予定よりかかり、お買物時間が足りなかったようですが、他学年の方々との交流、豪華なランチ美しい自然と、素敵な一日でした。

三年間文化委員として、楽しく活動させて頂き、ありがとうございました。



全国大会に参加して

全国大会を終えて

放送局 三年四組 木下 優花

入部してから二年半、真面目にやってきたとは言えませんが、アナウンスを続けてきました。尊敬する先輩方の功績に近付きたいと意識して臨んだ地区大会と全道大会をなんとか乗り越え、全国大会に出場することができました。

全国大会の直前には学校祭があり、局長としての仕事も多かったため、発声練習を毎日続けられませんでした。さらに部員全員で全国に行くことも叶わなかったため、不安と心細さを抱えながら全国大会に参加しました。



会場では、あちこちから様々な方言で会話する声がかかります。全国大会に来ていて、意識することを発表本番ではとても緊張しました。

が、アナウンス原稿の中で伝えたいことを意識して読み切ることができました。

全国大会も含めて、この二年半で放送局員として活動してきたことは私の貴重な経験です。

最後に、応援してくれた先輩方や部員、顧問の吉田先生や、取材に協力してくださった高橋先生など、本当にありがとうございます。

最後のインターハイ

水泳部 三年六組 清水目 和

私は八月に千葉県で行われたインターハイに出場しました。

今年のインターハイは、自分にとって最後の大会だったので、昨年よりも、絶対に出場したいという気持ちが強くなりました。

全道大会では、決勝で三位以内に入らなければならなかったため、緊張と不安でいっぱいでしたが、友達や後輩からの応援のおかげで、無事に二位に入ることができました。本当に嬉しかったです。

インターハイ本番では、いつもと

は異なる環境や雰囲気にとっても驚きました。自分にとってのラストレース。絶対に自己ベストを出したいと言った気が泳ぎましたが、結果を出すことができず、本当に悔しかったです。それでも、今の自分のできる全力のレースはできたと思うし、最後の大会を楽しむことができたので悔いはありません。

今まで水泳を続けてきて、苦しい事や辛い事がたくさんありましたがそれ以上に、良い結果が出たときの喜びや達成感が自分を奮い立たせてくれました。

この大会に出場できたのは、いつも共に練習している仲間やコーチ、応援して下さった先生方や友人、引率して下さい下さった外山先生、そして、

第41回マラソン大会 上位入賞者

男子	1位	2年8組	石岩	尾本	尚	之翔也
	2位	2年8組	岩和	本泉	竣	航暉
	3位	2年6組	高田	田中	大将	暉吾
	4位	2年7組	高山	山下	大	明太
	5位	2年2組	山岡	村谷	将	樹稀
	6位	2年2組	中左	野本	お	り世
	7位	1年7組	岡中	川原	理	央
	8位	1年5組	左小	田	理	菜
	9位	2年8組	山小	泉	陽	志
	10位	2年5組	山下	田	志	美
女子	1位	1年4組	川原	廣	理	優
	2位	2年7組	新田	新	陽	織
	3位	1年8組	今泉	今	志	優
	4位	2年7組	島中	島	美	み
	5位	2年7組	中伊	中	み	なる
	6位	2年8組	佐藤	伊	く	なる
	7位	1年3組	藤	藤	夏	希
	8位	3年6組	里	里	希	胡
	9位	2年8組	胡	胡	胡	胡
	10位	2年8組	胡	胡	胡	胡

第41回マラソン大会 『継続は力なり』賞 受賞者

男子	3年4組	伊藤	藤	創	成
	3年7組	田鎖	鎖	光子	光子
女子	3年1組	三川	川	璃	夏
	3年1組	森川	川	千	夏
	3年6組	櫻井	井	る	み
	3年7組	遠藤	藤	季	紗

長い間自分のことを支えてくれた家族のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

見学旅行

平和の国 日本

二年一組 菅原 茅乃



伏見稲荷大社

強く心に刻んだ。そして、その事実を学んだ上で一日一日を大切に過去の人々の思いに伝えていきたいと感じた。

京都やその他様々な場所で歴史的建造物を見学できたことはとても貴重な経験であり、これからも私の心のなかに思い出として残していきたい。また、初めての地を訪れてみて北海道とは全然違う景色、食を感じた。風情あふれ歴史残る京都は行く所々全て感慨深いものがあり、ゆっくりと時代を感じながら暮らしてみたいと思うことが多々あった。

修学旅行を通して、学んだことをこれからの人生に最大限に生かし、過ごしていきたい。高校生活の一大イベントが終わり悲しい気もするが、気持ちを入れかえて精一杯勉強にうちこんでいこうと思う。

見学旅行で学んだこと

二年二組 工藤 有加

私はこの見学旅行を通して学んだことが三つあります。一つ目は『見学の歴史』です。京都はとても魅があつて古き良き街という感じで魅



ホテル佐野家

力的でした。雑誌やネットで見るよりも、実際に見ることで雰囲気なども伝わってきて京都の歴史を肌で感じる事ができました。広島の平和記念公園では、写真を見たり、実際の展示物を自分の目で確かめることによって改めて平和の尊さを学ぶことができました。

二つ目は『計画性』です。私たちの班は、自主研修で一度も迷うことなく全て予定通りに進めることができました。事前にちゃんと計画してよかつたなど本当に実感した一日でした。自主研修は、神社めぐりをしたくさん美味しい物を食べて、いろんなお土産を買って、と本当にたくさんのお出ができてとても楽しかったです。また同じメンバーでも一度同じ場所へ行きたいと思うくらいです。三つ目は『友達の大切さ』です。

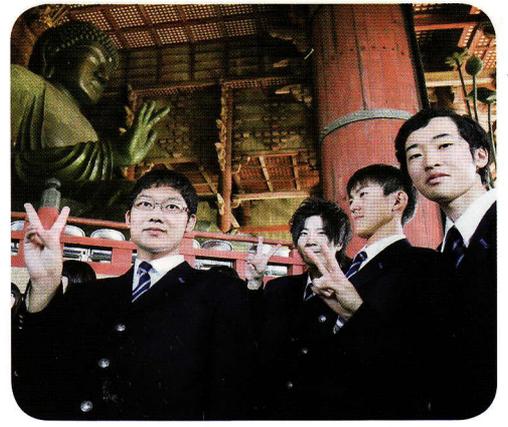
この四泊五日の修学旅行で、私はたくさんの友達とふれ合いました。同じ班はもちろん、普段あまり話したことがなかった友達ともとても仲良くなれた気がします。五日間を楽しくすごせたのはみんながいたからです。このクラスでこのメンバーです。ごせて本当によかつたと思ひました。本当に楽しい修学旅行でした。私はこの修学旅行でさまざまなことを学びました。この経験を活かして普段から頑張りたいです。

見学旅行を終えて

二年三組 榎本 達也

この旅行で様々なことを学べました。京都では建物や庭など日本の和を感じる事ができたので本当に良かったです。自主研修も予定以上に進んだのでそれも良かった。今回の旅行で行けなかつた嵐山方面などは機会があれば訪れたい。普段教科書で見てるものを間近で見てイメージと違つたことが一番の驚きでした。先生方が百聞は一見にしかずとおっしゃっていました。本当にその通りでした。

奈良での大仏や鹿も思い出の一つになりました。広島では今の平和というものがどのようになっているのか改めて考えさせられました。



東大寺大仏殿

見学旅行を通して

二年四組 工藤 周平

た。六十九年たちでしたが忘れてはいけないと思えました。宮島ではライトアップや散策ができて楽しかった。

この旅行は良い思い出しかないし、とても楽しかったです。仲間と五日間生活して色々話し、遊び、仲が深まったし、相手への気づかいの大切さも学べました。そして自分はいい仲間に恵まれていることに気づきました。楽しく生活できたのは時間をしっかり守ったこと、先生方や旅行会社の人、お金を出してくれた両親に感謝したいです。

今回学んだことを活かして学校生活を送っていききたいです。もっともっと楽しく充実した生活を送っていききたいです。

見学旅行を通して

二年四組 工藤 周平

この見学旅行では、いい思い出がたくさん作ることができました。初めての飛行機による旅行、京都、大阪、神戸、岡山、広島でした。自分の知らない場所に行くのはとても緊張しましたが、楽しむことができました。どの場所でも、北海道とはちがったその土地の特色が見られたのでよかったです。京都には古風な街並みが多く多いのかと思っていましたが、車の交通量も多く、驚きました。大阪の道頓堀はイメージ通りにぎわっていて、人混みがすごかったです。広島では、食べてみたいと思っていた広島風のお好み焼きを食べることができてよかったです。原爆ドームでは、当時の様子を写真や資料で見ると、胸が苦しくなりましたが、戦争の惨禍をまた改めて知ることができました。これは忘れてはいけないことだと思っているので、またいつか訪れようと思いました。

この見学旅行を通して、しっかりと自分で「見て」「学ぶ」ことができました。同時に「人に支えつづけてもらった」ということに気付きました。添乗員、運転手、ガイド、カメラマン、ホテル、先生、その中でも、多額の旅費を出し、快く送り出してくれた

家族と、自分に良くしてくれた友達には本当に感謝しています。一生の思い出をありがとうございます。

歴史と絆と反省とこれから。

二年五組 池端 七恵

今回の四泊五日の見学旅行では、六府県を回って見る、少し慌ただしいものとなりました。初日から最終日まで、日本の歴史をたどるような旅行で、今まで見たことない世界遺産や、国の重要文化財を見て、凄くいい体験となりました。数少ない、学校の外での仲間たちとの集団生活により、程良い緊張の中、ふざけあたり、時には真面目に向きあうことで今まで以上に絆を深めることができましたと思います。

今回の旅行のメインイベントとも言える一日自主研修では、時間通りに巡ることができたものの、時々失敗することがあり、私自身反省と改善することが発見できました。事前学習の時点からもっと詳しく調べておくべきだと思いました。結局行きたい所にみんなを連れていくことができず、時間のロスをさせてしまいました。これが反省点で、改善点は物事を楽観的に見ずに念入りに責任をもって行動することです。これらを意識してこれからの学校生活に活

かしていききたいと思います。

仲間たちと楽しくすごした四泊五日の旅を終え、区切りの時季となり、私たちは三年生零学期に突入しました。今まで以上に部活に打ち込みつつ、本分である学業に励みたいと思います。悔いのない一年と数カ月の残りの高校生活を送り、同時に楽しんでいきたいと思っています。

見学旅行

二年六組 北口 果奈

楽しみにしていた見学旅行がもう終わってしまいました。今回行った所はすべて初めて行つたので、驚くことが多くありました。

まず、京都の風景です。北海道とは違い昔ながらの家や、寺など初めて見るものばかりでした。北海道では青色ばかりが使われている派立めなローソンは京都では控えめになっていました。その他のお店でも京都の空気を壊さないような工夫がされていました。

また、京都の家の屋根が三角になっていたことです。北海道のように雪が降らないのであたりまえですが、時代劇の中にあるような気分になりました。

次に原爆ドームについてです。私



広島平和記念公園

私は、中学校三年生の時に、修学旅行で広島を訪れました。その時も

二年七組 庄子 和葉

変わったこと、変わらないこと

は原爆ドームより資料館の方が心に響きました。たくさんの遺留品とそれについても悲しい気持ちになりました。その時の写真や人々の傷の写真を見て泣いているおばあちゃん方がいました。原爆の時その場にいらなくても日本人にとっては悲しい出来事だったということを感じました。
四泊五日という長い間でしたが、友達の様々な面を見れたり、おもしろいことがいっぱいあり、とても楽しかったです。大人になってからまた京都に行ってみたいです。

原爆ドームを訪れ、平和記念資料館を見学しました。その時は難しく理解ができなかったこと、あまりの衝撃に現実を受け入れられなかったこと、そして当時の町の様子や人々の様子を物語っている数々の展示品から、目を背けてしまったことがありました。このことが、私の心残りでした。

そして、高校二年生の見学旅行で、再び広島を訪れることができました。そこには、時が止まったように何も変わらずに建ち続ける原爆ドーム、当時の町や人々の様子、戦争の悲惨さや愚かさを私たちに伝え続けている平和記念資料館、そして、変わらぬ「平和」を訴え続ける姿がそこにはありました。しかし、私は変わる事ができていました。事前学習を積み、資料館では一つ一つの展示品に目を通し、自分なりに考え、それを受け入れてきました。

「戦争」「命」について、私がいえることは一つもないかもしれません。しかし、いつも忘れかけてしまう大切なことを、また改めて感じる事ができました。辛いこと、苦しいことはたくさんあるけれど、今こうして毎日笑って過ごす事ができているのは、家族や友達、支えてくれている人々のおかげなので、自分の口でしっかりと「ありがとう」を伝えることです。

見学旅行を終えて

二年八組 石尾 尚之

私がこの見学旅行で最も印象に残ったことは、景観の違いです。京都に着いて、まず目に入ったものは、建物の違いです。見学旅行ガイドにも載っていた通り、瓦屋根が多く、北海道の雪を考えた建物との違いを感じました。次に、コンビニや郵便ポスト、自動販売機などは、京都の町並みを維持するために色を合わせていて、歴史的建造物に対する日本の思いが伝わりました。また、自主研修では、仁和寺、龍安寺、金閣寺に、クラスでは、法隆寺、東大寺、平等院鳳凰堂へ行きました。どれも教科書等で見たことがありましたが、その場でしか味わえない雰囲気があり、日本の和を見られて良かったです。

次に印象に残っていることは、広島での平和学習です。資料館には、熱線で変形した爪、髪の毛、焼けただれた皮膚など目をそむけたくなくなるような写真や展示物が多くありました。しかしこれが現実であると受け止め、この犠牲を無駄にしないためにも私たち一人一人がこの事実と向き合って未来を切り拓いていかなければならないと思えました。最後にこの見学旅行では、友人関係の大切

さを身に染みて感じました。友人がいなければできないこと、共感し合えないことも多くありました。そんなかけがえない友人を大切にして、この見学旅行で学んだことをこれらの生活に活かしていきたいです。

旅行行程表

旅行期間：平成26年10月28日(火)～11月1日(土)

Table with 4 columns: 日程 (Date), 行程 (Itinerary), 食事 (Meal), 宿泊施設 (Accommodation). It details the travel schedule from October 28th to November 1st, including stops at Hiroshima Peace Memorial, various temples, and hotels in Kyoto, Kobe, and Miyajima.

交通機関： 航空機 貸切バス >>>> JR ~~~~~ 船泊 徒歩

青春の記録

●卓球部

札幌卓球選手権大会兼北海道卓球選手権大会札幌予選会
(男子シングルス)

竹岡 1回戦 不戦敗 札幌南
岡田 1回戦 0-3 札幌工業
村山 2回戦 0-3 札幌国際情報

札幌卓球選手権大会 (シングルス) 二部・高校の部
(男子シングルス)

外内 1回戦 0-3 札幌琴似工業
村山 1回戦 0-3 札幌工業
佐藤 1回戦 1-3 石狩南
岡田 1回戦 3-0 札幌北陵
2回戦 0-3 高志学園
石川 1回戦 1-3 札幌啓北商業

札幌地区秋季高校新人卓球選手権大会
(男子学校対抗戦)

北広島、恵庭北、札幌稲雲、石狩南、北広島西と総当たりで予選ブロック敗退

(男子ダブルス)

外内・竹岡 1回戦 0-3 札幌北陵
村山・岡田 2回戦 0-3 札幌龍谷
石川・佐藤 2回戦 0-3 札幌旭丘

(男子シングルス)

石川 1回戦 0-3 札幌北
岡田 1回戦 0-3 大森
外内 1回戦 3-0 札幌琴似工業、
2回戦 0-3 高志学園、
佐藤 1回戦 0-3 札幌龍谷
村山 1回戦 0-3 札幌開成
竹岡 1回戦 1-3 札幌工業

●男子バドミントン部

第16回札幌バドミントン協会会長杯大会
(男子ダブルス)

本田・青野組 1回戦 2-0 恵庭北、
2回戦 2-0 札幌英藍
3回戦 0-2 北海
丸山・田中組 1回戦 1-2 大森

(男子シングルス)

本田 2回戦 2-0 札幌丘珠、
3回戦 2-1 札幌稲雲
4回戦 1-2 北海
田中 2回戦 2-0 札幌厚別、3回戦 0-2 札幌北
丸山 2回戦 2-1 札幌清田、3回戦 0-2 札幌東

男子バドミントン秋季札幌支部大会
(西ブロック2部)

1回戦 札幌手箱 3-0 札幌あすかぜ
2回戦 札幌手箱 3-0 札幌工業
3回戦 札幌手箱 3-0 札幌藻岩
4回戦 札幌手箱 3-0 札幌光星
5回戦 札幌手箱 3-0 札幌西

※2部優勝 決勝トーナメント進出、西ブロック1部昇格

<1部ダブルス>

本田・青野組 2回戦 2-1 札幌南、
3回戦 2-0 大森
4回戦 0-2 北海
原田・勝岡組 1回戦 0-2 北海

<2部ダブルス>

伊藤・織岡組 1回戦 1-2 札幌北

<1部シングルス>

伊藤 1回戦 2-0 北広島、2回戦 0-2 札幌東
本田 2回戦 0-2 北海
田中 2回戦 1-2 札幌西陵
青野 2回戦 1-2 恵庭北

<2部シングルス>

原田 1回戦 2-キ 国際情報、2回戦 2-0 札幌白石
3回戦 1-2 東海大四
織岡 1回戦 2-1 恵庭北、2回戦 1-2 札幌旭丘
勝岡 2回戦 0-2 札幌藻岩

札幌支部秋季高校バドミントン大会西ブロック (1年生大会)
(ダブルス)

田中・丸山組 2回戦 2-0 札幌西陵、
3回戦 2-0 札幌南
4回戦 0-2 札幌藻岩

伊藤・土谷組 2回戦 2-0 札幌工業、
3回戦 2-1 札幌英藍
4回戦 0-2 札幌稲雲
1回戦 2-0 札幌新川、
2回戦 0-2 札幌工業

小黒・浅利組 1回戦 2-0 札幌新川、
2回戦 0-2 札幌工業

長田・土屋組 1回戦 0-2 札幌英藍

(シングルス)

丸山 2回戦 2-0 札幌あすかぜ、
3回戦 2-0 札幌英藍
丸山 4回戦 2-0 札幌国際情報、
5回戦 2-0 札幌西陵

丸山 6回戦 2-1 札幌藻岩、
準々決勝 2-0 札幌新川
丸山 準決勝 2-0 札幌旭丘、
決勝 0-2 札幌南

伊藤 2回戦 2-0 札幌英藍、3回戦 2-0 札幌工業
4回戦 0-2 札幌南
浅利 2回戦 0-2 札幌あすかぜ、
3回戦 0-2 札幌龍谷

小黒 1回戦 2-0 札幌開成、2回戦 0-2 札幌北
田中 1回戦 2-1 札幌藻岩、2回戦 0-2 札幌西陵
土谷 1回戦 1-2 札幌南陵、2回戦 1-2 札幌旭丘

長田 1回戦 0-2 札幌南

●女子バドミントン部

第16回札幌バドミントン協会会長杯
(個人ダブルス)

昆野・小山組 5回戦 (ベスト16)
檜田・富山組 2回戦

(個人シングルス)

昆野 (3回戦)、小山 (3回戦)、今渡 (2回戦)
秋季大会
(団体戦西ブロック2部)
札幌旭丘、札幌の手、札幌稲雲、札幌北陵、石狩南の5校総
当たり戦で戦5勝

2部優勝 (決勝トーナメント進出、1部昇格)

(個人1部ダブルス)

昆野・小山組 2回戦

(個人2部ダブルス)

檜田・藪谷組 ベスト16で敗退

菊地・松浦組 1回戦

(個人2部 シングルス)

昆野 (4回戦)、檜田 (4回戦)、大沼 (3回戦)、菊地 (2回戦)、
藪谷 (2回戦)

西ブロック1年生大会
(ダブルス)

富山・今渡組 準々決勝
(シングルス)

今渡 (4回戦)、富山 (3回戦)、松浦 (2回戦)

●男子ハンドボール部

札幌支部高等学校ハンドボール新人大会
(予選リーグ)

札幌手箱 24-21 札幌南陵

札幌手箱 15-40 札幌啓成

(決勝トーナメント)

1回戦 札幌手箱 15-27 札幌西

敗者復活戦 札幌手箱 20-33 札幌北陵

●女子ハンドボール部

第38回札幌支部高等学校ハンドボール新人大会
(予選リーグ)

札幌手箱 9-27 札幌新川

札幌手箱 31-4 静修

(決勝トーナメント)

1回戦 札幌手箱 14-26 札幌丘珠

敗者復活戦 札幌手箱 18-31 札幌西

●男子バスケットボール部

北海道高等学校バスケットボール選抜優勝大会
兼 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会札幌地区予選会

1回戦 札幌手箱 61-83 札幌開成
(予選リーグ)

札幌手箱 138-19 文教大明清

札幌手箱 82-58 札幌新川

札幌手箱 54-69 札幌東陵

札幌手箱 70-51 札幌平岡

(決勝トーナメント)

1回戦 札幌手箱 77-59 啓北商業

2回戦 札幌手箱 59-116 札幌日大

●女子バスケットボール部

北海道高等学校バスケットボール選抜優勝大会
兼 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会札幌地区予選会

1回戦 札幌手箱 69-67 札幌平岡

2回戦 札幌手箱 50-68 札幌英藍

札幌地区高校バスケットボール秋季新人大会
(予選リーグ)

札幌手箱 63-50 札幌東陵

札幌手箱 53-50 札幌丘珠

札幌手箱 62-53 札幌西陵

札幌手箱 66-88 千歳高校

(決勝トーナメント)

札幌手箱 50-84 大森

●女子バレーボール部

全日本高校選手権札幌地区予選会
(予選グループ戦)

札幌手箱 0-2 札幌西

札幌手箱 2-0 札幌真栄

(決勝トーナメント)

2回戦 札幌手箱 0-2 札幌西 (ベスト16)

江別・千歳・札幌地区新人戦
(予選グループ戦)

札幌手箱 2-1 北広島

(決勝トーナメント)

1回戦 札幌手箱 2-0 札幌白石

2回戦 札幌手箱 0-2 恵庭南 (ベスト16)

●女子バレーボール部

全日本高校選手権札幌地区予選会
(予選グループ戦)

札幌手箱 2-1 札幌英藍

(決勝トーナメント)

札幌手箱 0-2 札幌白石

江別・千歳・札幌地区新人戦
(予選グループ戦)

札幌手箱 2-0 藤女子

(決勝トーナメント)

札幌手箱 2-0 北広島

札幌手箱 0-2 恵庭南

●野球部

第96回全国高等学校野球選手権大会北海道大会 札幌支部予選
Bブロック 1回戦 札幌手箱 12-2 札幌東豊

準決勝 札幌手箱 0-1 札幌西

第67回秋季北海道高等学校野球大会 札幌支部予選
Bブロック 1回戦 札幌手箱 3-10 札幌光星

●男子テニス部

札幌支部高等学校秋季テニス大会
(団体戦)

2回戦 札幌手箱 2-3 札幌東

(個人戦シングルス)

池田 1回戦 7-6 札幌英藍

2回戦 4-6 札幌稲雲

佐々木 2回戦 6-4 札幌平岡

3回戦 0-6 高志学園

杉本 1回戦 7-5 札幌北斗

2回戦 6-3 北広島西

3回戦 0-6 立命館

(個人戦ダブルス)

池田・野口 1回戦 6-3 石狩南

2回戦 6-4 札幌北斗

3回戦 2-6 札幌光星

佐々木・山下 1回戦 6-0 札幌丘珠

2回戦 6-4 札幌第一

3回戦 0-6 札幌日大

●女子テニス部

札幌支部高等学校秋季テニス大会
(団体戦)

1回戦 札幌手箱 3-0 白石

2回戦 札幌手箱 0-3 札幌清田

(個人戦シングルス)

大橋 2回戦 6-2 札幌西陵、3回戦 6-1 北星附、

4回戦 6-7 旭丘

近田 2回戦 0-6 北星女

伊藤 2回戦 2-6 立命館

(個人戦ダブルス)

大橋・近田組 1回戦 6-0 札幌啓北商業、

2回戦 6-2 北広島西

3回戦 2-6 札幌藻岩

伊藤・信太組 1回戦 6-3 石狩南、

2回戦 0-6 北星女子

●サッカー部

サッカー選手権大会

1回戦 札幌手箱 2-2 札幌清田 PK (5-6)

U-17大会 (新人戦)

予選グループリーグ

札幌手箱 2-0 北嶺

札幌手箱 0-0 札幌白石

札幌手箱 0-3 北海

札幌手箱 1-0 札幌平岡
(勝点7 グループ2位 決勝T進出ならず)

●陸上競技部

札幌支部高等学校新人陸上競技大会

男子

100m 濱 圭佑 (3位)、110m 中島拓実 (3位)

400m 輝崎智也 (8位) ※以上全道出場

女子

棒高跳 秋田紗菜 (6位)、藪中要果 (7位)、佐野弥詩 (8位)

第30回北海道高等学校新人陸上競技大会

男子

100m 濱 圭佑 (準決勝)、110m 中島拓実 (準決勝)

●剣道部

札幌支部高等学校新人剣道大会

澤田 (2回戦進出)、藤山 (1回戦)、高橋 (1回戦)、佐藤 (1回戦)

●弓道部

高体連札幌支部大会

男子団体 予選敗退

女子団体 決勝敗退

新人戦札幌支部大会

男子個人 三谷優太 (7位) ※全道大会進出

女子団体 6位全道大会進出

新人戦全道大会

男子個人・女子団体 予選敗退

●空手道部

国民体育大会空手道競技北海道予選

少年男子形 窪田 (3回戦)、松濱 (2回戦)

少年女子形 井上 (2回戦)

少年女子組手 森谷 (2回戦)

第45回北海道空手道選手権大会

ジュニア個人組手 女子 森谷 (優勝)

個人形 女子 井上 (3位)

第14回 TANISAWA CUP

団体形 男子 (優勝)、女子 (準優勝)

個人組手 男子 森谷 (準優勝)

個人形 男子 窪田 (3位)、女子 井上 (準優勝)

第6回札幌支部高等学校空手道選抜大会 (新人戦地区大会)

団体組手 男子 (全道進出)、女子 (全道進出)

団体形 男子 (優勝 全道進出)、女子 (準優勝 全道進出)

個人組手 男子 石田 (2回戦 全道進出)

今野 (1回戦)、岡崎 (1回戦)

黒川 (1回戦)

同 女子 森谷 (優勝 全道進出)、山本 (2回戦)

窪田 (準優勝 全道進出)、

松濱 (3位 全道進出)

石田 (ベスト16 全道進出)、仁部 (2回戦)

同 女子 井上 (3位 全道進出)、

森谷 (ベスト8 全道進出)

山本 (ベスト16 全道進出)

●ESS

第6回高等学校英語ディベート大会石狩支部大会 (予選リーグ)

第15回全道高等学校英語ディベート大会石狩支部大会 (入賞なし)

第2回全道高等学校英語ディベート大会 (予選リーグ)

●書道部

高文連石狩地区書道展

特選 若山理紗、川嶋梨乃、高澤拓哉、黒木知音、小泉 芽

秀作 清水ちひろ、井上菜緒、松山美聖、石塚千紘

高文連全道小樽大会

北海道高等学校文化連盟賞 高澤拓哉、小泉 芽

国際高校生選抜書展 (書の甲子園)

優秀賞 小泉 芽、入選 高澤拓哉

全道学校書道展

団体賞 表彰校、個人賞 北海道知事賞 小泉 芽

北海道学生書道展

推薦 酒井 秀

●合唱部

第81回NHK全国学校音楽コンクール札幌地区大会 (奨励賞)

第65回北海道合唱コンクール 「高等学校A部門」 (銅賞)

●放送部

第61回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会

アナウンス部門 木下優花 (準々決勝)

第53回高文連放送コンテスト 石狩大会

アナウンス部門 (93人中)

加藤 (30位)、濱野 (34位)、伊藤 (40位)、岡田 (44位)

朗読部門 (126人中)

加瀬 (9位 全道大会進出)、品田 (31位)、池上 (49位)、

青木 (54位)

ラジオ番組部門 (24校中) 第3位 (全道大会進出)

ビデオメッセージ部門 (28校中) 第17位

●新聞部

第58回全道高等学校新聞コンクール

手書き・ワープロ部門 優秀賞

編集委員

今回担当2年次

上野 晶子、坂上 容子、本田 寿美

中村 公彦先生、篠田 和巳先生